

# 2019年4月～9月 前期受講生募集!

きっとあなたの力になる!

大学院授業では修士(経済学)を目指せます!

修士(経済学)取得の流れ

- 1 募集要項を確認して出願 ▶▶▶ 入学審査に合格すると...
- 2 科目等履修生として受講開始 ▶▶▶ 田辺市ビッグ・ユーでの受講
- 3 一定の単位を取得 ▶▶▶ 単位認定
- 4 大学院出願
- 5 社会人特別選抜試験・面接 ▶▶▶ 合格すると
- 6 大学院正規生として入学 ▶▶▶ サテライトで取得した単位がカウント可能です。
- 7 修士論文8単位を含めて30単位取得
- 8 修士(経済学)が授与されます ▶▶▶ おめでとうございます!

受講生の声

受講したきっかけ、授業に対するご意見



いろんな方々が学んでいます。公務員、会社員、教師、高校生、退職された方、主婦、自営業者、地域公益活動・NPO活動者等々

職場とは異なる出会いがあり、いろいろな人と交流できました。(50代男性)

紀伊半島の自然や歴史・文化を知りたくて。(60代女性)

生徒の皆さんも楽しい方が多くて楽しかった。(50代女性)

## アクセス 和歌山大学 南紀熊野サテライト

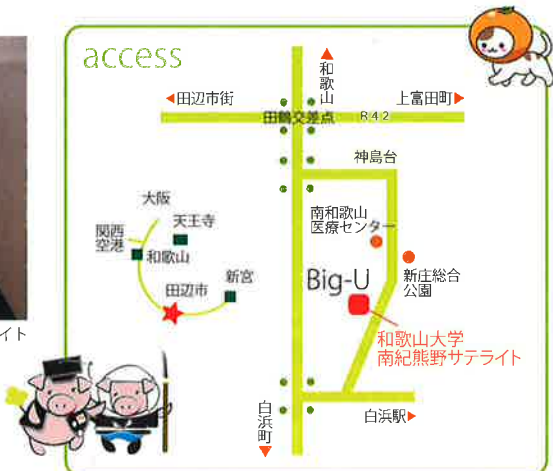
和歌山県立情報交流センターBig-U



自動車でお越しの方 大阪方面から約2時間30分  
最寄ICは、阪和自動車道「南紀田辺IC」です。  
松原JCTから阪和自動車道を和歌山方面へ。南紀田辺ICを降りて国道42号線を白浜方面へ  
JRでお越しの方 新大阪より約2時間30分  
新大阪駅・天王寺駅からJR特急(くろしお・スーパーくろしお)にてJR白浜駅下車。  
タクシーにて約5分。



和歌山大学南紀熊野サテライト



- ★申込み詳細は募集要項をご覧ください。
- ★募集要項は和歌山県立情報交流センターBig-Uに配架。HPからダウンロードもできます。
- ★記載内容は都合により変更する場合があります。詳しくは南紀熊野サテライトまでお問合せ下さい。

## 募集締切

※お振込は必ず出願・申請期間内にお願ひします  
※募集定員になりましたら締め切らせていただきます。

- 大学院 **2月28日(木)【必着】**  
※出願期間:2月15日(金)～2月28日(木)まで
- 学部開放 **3月15日(金)【必着】**  
※申請期間:2月15日(金)～3月15日(金)まで



Nanki kumano Satellite of Wakayama University

サテライト  
2つの授業  
スタイル

- 1 大学院授業は単位を取得し、修士(経済学)の学位を目指せます。
- 2 学部開放授業は18才以上の方ならどなたでも受講していただけます。高校生(1年～3年生)は、大学院授業の公開制度を利用できます。

## 学部開放授業 3科目

### 「地域暮らしの法律学B」

今回は相続問題を集中的に取り上げ、遺言が無い場合誰が相続できるのか、相続できる割合はいくらか、など相続に関する問題をドラマや映画を視聴して判りやすく講義します。

### 「熊野郷土学2A～郷土学からの地域振興～」

民俗史や産業史に学び、更に今あるまちの魅力を活かした次世代の地域振興のあり方を、持続可能な視点から考えます。

### 「地域づくりの理論と実践」

注目される「関係人口」を創出する上でのコーディネーターとしての役割を果たしうるホスピタリティ豊かな地域づくり人材の育成を考えます。

## 大学院授業 3科目

### 「食農地域づくり特論」

都市と農村との新たな関係を踏まえた地域資源活用や農村ビジネスについて学び持続可能な地域社会づくりの方向性を展望します。

### 「オトナの生涯スポーツライフとプロモーション」

歳を重ねていく中でスポーツに親しむことの意義と、その可能性について考え、スポーツイベントのプロモーションを学習します。

### 「民法の現代的諸課題～医療過誤訴訟を中心に～」

多くの社会問題の中で医療事故に関する紛争を法的観点から取り扱います。社会的・法的観点から考察し、被害者である患者に沿った映画やドラマを視聴して、民法や民事訴訟に関する知識を取得してもらいます。

平成31年度前期 和歌山大学南紀熊野サテライト  
**募集 社会人受講生**  
働きながら学べる!  
高校生も学べる!

南紀熊野サテライトは、地域課題に対応した地域連携・貢献を推進するため、和歌山大学全体の知的資源を活かして南紀熊野における地域連携・貢献に関わる教育と研究及び、地域づくりの人材と地域課題に対応した事業に参画するための拠点です。

田辺市と新宮市で和歌山大学の授業が受けられます。



和歌山大学南紀熊野サテライトイメージキャラクター  
サテライトン  
生息地:南紀熊野エリア  
好む食べ物:お菓子  
特技:楽しい  
趣味:サーフィン、読書

※写真はイメージです



# 和歌山大学 南紀熊野サテライト

## 大学院ご案内

大学院科目等履修生は大学卒業の方が対象です。1科目につき2単位が取得できます。南紀熊野サテライトで取得単位を含め30単位取得で修士(経済学)の学位が取得できます。費用は1科目あたり28,800円です。初めてご入学される方は、検定料5,000円と入学料10,000円が別途必要となります。

大学院科目等履修生募集科目【各若干名募集/教室定員10名】  
開講時間：原則金曜夜間と土曜日

## 食農地域づくり特論(大学院)

グローバル化の進展は、現代日本の国民生活や地域のあり方に大きな影響を及ぼしている。とりわけ日本の食を支える農業・農山村は、農産物価格と農業所得の低迷を背景として、労働力の確保や農地・林地などの基礎資源の適正な維持・管理が危ぶまれる状況にある。さらに、過疎化・高齢化により共同体としての集落機能が喪われる「限界集落」化が進行するなど、農山村に居住する農家や住民だけでは地域を維持・管理することが困難になっている。その一方、若年代を中心に「田園回帰」の動きがみられて、都市的生活者と農村との新たな関わり方が生まれている。この講義では、現代の「食」と「農」の関係性を問直すための視座を与え、ともに、食料・農業問題や農業経営、地域づくりをめぐる現状と課題、および「田園回帰」時代の都市と農村との新たな関係を踏まえた地域資源活用や農村ビジネスについて学び持続可能な地域社会づくりの方向性を展望する。

■担当教員：大浦由美 他 ■日程：5月11日(土)、25日(土)、6月8日(土)、22日(土)、7月20日(土)、27日(土)

## オトナの生涯スポーツライフとプロモーション(大学院)

本講義ではまず、成人期以降のスポーツの多様な楽しみ方について紹介し、オトナになったからこそ味わえるスポーツの楽しみ方、オトナになったからこそ広がるスポーツ文化について共に考えていく。そして、歳を重ねていく中でスポーツに親しむことの意義と、その可能性について皆で議論することを本講義の第一の目標とする。また、後半では、生涯スポーツのイベント・プロモーションのケーススタディとして、第一回アジア・オセアニアビーチアルティメット大会(白良浜)でフィールドワークを行ない、国際的なスポーツイベントの現場を体感し、スポーツイベントのプロモーションを学習することを第二の目標とする。

■担当教員：彦次佳 ■日程：5月17日(金)、18日(土)、31日(金)、6月1日(土)、6月14日(金)、15日(土)

## 民法の現代的諸課題(大学院)

民法は最も広範で包括な法律の代表と言っても過言ではありません。極めて多くの課題を抱えており、その社会問題の中で医療事故に関する紛争を本講義は法的観点から取り扱います。医療事故(医療過誤)を医学的観点からではなく、社会的・法的観点から考察し、民法や民事訴訟に関する知識を取得してもらいます。民法の専門書を講読・報告してもらうのではなく、山崎豊子原作の『白い巨塔』やその映画やドラマを視聴してもらい、現実感を持って医療過誤紛争にアクセスしてもらう予定です。民法は抽象的・専門的で、難解という感覚を持たれているかもしれませんが、しかし、民法は意外に身近で興味深いものであり、身近で日常生活を送る上で非常に重要な存在へと変えることができれば幸いです。

■担当教員：吉田雅章 ■日程：7月5日(金)、6日(土)、12日(金)、13日(土)、8月2日(金)、3日(土)

## 学部ご案内

学部開放授業は18才以上の方でしたら、どなたでも受講していただけます。(高校1年～3年生は、『大学授業の公開制度』を利用できます。詳細は、和歌山大学のホームページをご確認ください。募集期間は別途設定されておりますのでご注意ください。)単位認定や試験はありません。お気軽に受講ください。和歌山市の大学から先生が会場に来て授業を行います。週末中心の授業で働きながらでも学びやすくなっています。費用は1科目あたり10,000円です。初めてご登録される方は登録料7,000円が別途必要となります。

学部開放授業受講生募集科目【各15～30名程度募集/先着】  
開講時間：原則土曜日午後、日曜日

## 地域暮らしの法律学B(学部)

地域に存在する日常生活の種々の場面を具体的な例として取り上げて、法律がどのように役に立っているか、そして、日常茶飯事でさえ法律抜きでは考えられないということを理解してもらうことをねらいとしています。今回は、テーマを絞って相続問題を講義します。遺言が無い場合、誰が相続できるのか、相続できる割合はいくらか、借金も相続しなければならないのか、遺言があっても公正証書か自筆証書か、複数の遺言が出てきた、配偶者や子の相続分がゼロ、等々、相続に関する厄介な問題をテレビドラマや映画を視聴して判りやすく講義して法律学の敷居の高さを少しでも低くする工夫をします。

■担当教員：吉田雅章 ■日程：4月13日(土)、20日(土)、5月18日(土)、6月1日(土)、8日(土)、15日(土)

## 熊野郷土学 2A(学部)

※この科目の授業会場は新宮市役所別館です

紀伊半島、熊野の山や森、海川と寄り添う暮らしは、人々の生活にどのような影響を与えてきたのか? モータリゼーションが発達した現代から見れば、半島には僻地、閉鎖的という閉ざされたイメージがあるが、古代より海に開かれた紀伊半島の特性は漁業や輸送を生業として栄えてきた経緯がある。半島は海を媒介として開かれた空間であり、現在の閉ざされたイメージとは異なる世界が展開していた。日本の近代は紀伊半島にはじまると言っても過言ではない。民俗学や産業史に学び、更に今あるまちの魅力を活かした次世代の地域振興のあり方を、持続可能な視点から考えます。

■担当教員：此松昌彦 他 ■日程：7月6日(土)、20日(土)、27日(土)、8月24日(土)、31日(土)、9月7日(土)

## 地域づくりの理論と実践(学部) ※通年開講

※この科目の授業会場は秋津野ガルテンです

少子高齢化が進展する日本では、都市と農村との格差が拡大し、農村では「限界集落」が増加するなどの問題が起こっている。しかし、その一方で食の土台となる第一次産業の営みや農山漁村での暮らしに対する都市住民の関心も高まっている。農村においても「地域資源の活用」「農工商連携」「都市農村交流」など様々な取り組みが進められている。なかでも、都市農村交流における「鏡効果」の存在は、農山村再生の手法としても大いに注目を集めている。本講義は、農業・農村の現状に対する「当事者意識」に裏付けられた深い共感と問題関心を有し、且つ新たな地域づくりの担い手として注目される「関係人口」を創出する上でのコーディネーターとしての役割を果たしうるホスピタリティ豊かな地域づくり人材の育成を目的として開講する。【定員20名】

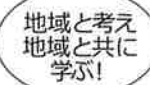
■担当教員：藤田武弘 他 ■日程：土日開講 ※詳細なスケジュールが決まり次第、ホームページ(南紀熊野サテライト：[www.wakayama-u.ac.jp/nanki-kumano](http://www.wakayama-u.ac.jp/nanki-kumano))等で公表いたします。

## 和歌山大学 南紀熊野サテライトとは?



『和歌山大学南紀熊野サテライト』は和歌山大学が和歌山県と連携して田辺市の和歌山県立情報交流センターBig・U(ビッグユー)内に開設しています。南紀熊野地域の活性化・文化向上を目的とし大学の保有する高等教育機能を活用して、地域のニーズにあった諸種の高等教育及び生涯学習・地域連携事業、大学の地域での教育・研究活動の推進や地域での報告会、研究会の開催など地域の知の拠点として活動しています。

## 和歌山大学南紀熊野サテライト 連携協議会とは?



南紀熊野地域の活性化・文化向上のため、和歌山大学南紀熊野サテライトが地域のニーズに応え充実した高等教育サービスを提供できるよう、運営支援する、和歌山県と地元自治体11市町村や関係団体による協議会。

## 南紀熊野サテライトと連携組織



### 和歌山大学南紀熊野サテライト

【学内組織】  
和歌山大学の総合出先機関として高等教育、地域での教育研究、生涯学習、人材育成の拠点

### 和歌山大学南紀熊野サテライト連携協議会

【地元組織】  
和歌山県が事務局となり地元の市町村・商工会議所が参画。高等教育事業への支援

### きのくに活性化センター

【地元組織】  
地元の自治体、商工会議所、JA、大学等が協働して設置した地域シンクタンク。主に地域振興等の事業で連携

連携

## 活動内容

### 1. 高等教育・生涯学習・高校連携

#### 高等教育

紀南地域の田辺市、新宮市、他で和歌山大学の授業や講座が受けられます。

- 授業は遠隔ではなく、和歌山大学の教員が実際教室へ来て授業を行います。
- 地域課題やフィールドワーク型の授業を展開しています。
- 地域のキーパーソンの方もゲストスピーカーで登壇します。
- 定員は大学院科目が若干名(教室定員10名)、学部科目が各30名です。
- 大学院は、社会人特別選抜試験を経て「修士(経済学)」の取得が可能です。



#### ○最近開講された科目

- (大学院) 「ジェロントロジー・スポーツ」「地域映像製作特論」など
- (学部) 「地域暮らしの法律学A」「熊野郷土学C」「地域づくり戦略論C」など

#### 生涯学習リカレント教育

県・市町村教育委員会との協働事業へ参画・相談できるネットワークづくり、人づくりを行っています。

「公開講座の実施」  
地域づくり・地域課題解決をテーマとする公開講座やサイエンスカフェの実施

#### 高校連携

和歌山大学の各種入試情報の発信や募集要項冊子の配架を行っています。また、高校生の方にも、和歌山大学南紀熊野サテライト(田辺市所在)の授業を受講体験していただける学部開放授業も開催しています。

その他、高校生や若い世代の方にもお茶を楽しみながら気軽にご参加いただけるサイエンスカフェも開催しています。

### 2. 地域研究・地域創造支援



#### 「地域研究の推進」

「地域貢献機能の充実を図るためのプロジェクト事業」実施や学生・教員の各種の地域での共同研究の支援や連携先の紹介など地域拠点として活用されています。

#### 「人材育成事業を実施」

地域研究や地域課題解決を自立的に考える人材育成事業を実施しています。

例：過疎地域の生活交通やジオツーリズムに関する調査研究実践の支援

### 3. 地域連携・産官学連携

#### 「南紀熊野観光塾」

紀南地域での持続可能な地域経営を担う中核人材の育成を目的として実施。その他、自治体などと連携した研修や企画事業を行っています。

#### 「きのくに活性化センターとの連携」

〈今までの活動事例〉  
まちづくり実践、計画策定、調査研究事業などを実施  
・田辺広域産業振興ビジョン、田辺市観光ビジョン、  
中心市街地活性化事業 など

#### 「地域づくりへの参画・NPO連携」

地域の企業、NPO団体との連携など



## お問い合わせ先：和歌山大学南紀熊野サテライト

〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町 3353-9 和歌山県立情報交流センター Big・U 102 号室  
TEL.0739-23-3977 FAX.0739-23-3978 ■開室時間 10:00～17:00(日曜・月曜・祝日休み)  
ホームページ <http://www.wakayama-u.ac.jp/nanki-kumano>  
メール [nankuma@center.wakayama-u.ac.jp](mailto:nankuma@center.wakayama-u.ac.jp)

